

# YMCA NEWS 金沢青年

No.35(2024年12月号)

発行所:金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201  
<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

## YMCAとワイズメンズクラブによる 令和6年能登半島地震・豪雨被災地への復興支援活動

2024年1月1日(月)に発生した能登半島地震、ならびに同年9月21日から23日にかけて発生した能登半島豪雨の被災地への復興支援活動は、全国のYMCAやワイズメンズクラブでも行われています。日本YMCA同盟Websiteに掲載された12月11日付け支援活動近況紹介では、「YMCAは地震直後から避難所の運営サポートを担い、豪雨後は泥かきボランティアを派遣してまいりました。これまでに派遣したスタッフ・ボランティア数は延べ300人余となりますが、雪の季節には作業困難なことから11月末でいったん派遣を休止しました。替わって冬の間は、主に子どもを対象としたリフレッシュプログラムを実施しています。12月8日には富山YMCAのスタッフと中学生6人が町野町を訪れ、現地の小中学生とともにピザ作りを楽しみました。冬休み中には富山YMCAが行うスキーキャンプに招待するなど、楽しい体験によって被災地のご家族を応援していく計画です。」と記されています(<https://www.ymcajapan.org/topics/20241212/>)。

2024年1月7日(日)午後、金沢YMCA事務所にて日本YMCA同盟の田口努総主事と有田征彦ブランディング推進協力部主任主事を迎えての懇談があり、金沢YMCAからは朝倉秀之理事長、山内ミハル常務理事、竹中丈晴理事、平口哲夫理事、数澤輝夫監事が出席。その後、有田さんから1月7日から9日まで金沢YMCA・富山YMCA訪問及び被災地視察を行なったことについての報告(第5報)がありました。

3月24日(日)午後、有田さんからの呼びかけに応じて、朝倉理事長・山口常務理事・平口理事・数澤監事、計4名が「いしかわ総合スポーツセンター」(金沢市稚日野町北222)に設置された、能登半島地震避難者のための1.5次的な避難所を訪問。この日、同センターでご奉仕なさっていたYMCA会員には、有田さん以外に大阪YMCAの宮原学さんと、富山YMCAの中川喬之さんがおられました。全国のYMCAから派遣されたスタッフは、数日ごとの交代でボランティア活動に従事しているとのこと。宿泊はJR金沢駅付近のビジネスホテルを利用。当初、センターのメインアリーナには二人用のテントが230ほど設置されていたが、避難者が二次避難所などに移るなどして減少したことから、大型テレビ・テーブル・椅子などを設置して食事や交流の場として利用できる場所を増やしたそうです。要件ごとの相談窓口が多数設けられ、医療・看護用の特別室もありました。暖房が効いており、トイレ・シャワー室も完備しているので、一時的な避難所としては恵まれているようです。避難所内での撮影は禁止されているので、帰り際に屋外で記念撮影。高齢化・少人数化した金沢YMCAは、今のところ被災者支援活動を少々行なっているにすぎません。率先して現地入りし、積極的に活動している方々に頭が下がる思いがします。

神戸ポートクラブの大野勉さんから金沢クラブの山内ミハル会長に連絡のあった5月3~4日開催「能登支援のため輪島で開催する餅つき」については、金沢クラブのブリテン2024年7月号で山内さんが報告しています(<https://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/kanazawa2407.pdf>)。今回、この報告を金沢YMCAのニューズレター用に書き改めてご寄稿いただいたので、次ページに掲載します。なお、山内さんからの私信によれば、12月28日(土)・29日(日)に2回目の餅つきが輪島で行われ、ご都合のつく1日目だけ、山内さんは参加なさったとのことです。



2024年3月24日、「いしかわ総合スポーツセンター」(能登半島地震避難者用1.5次避難所)前にて(大阪YMCAの宮原学さんにシャッターを押ししてもらいました)

(編集子)

## 令和6年能登半島地震被災地への慰問

金沢 YMCA 常務理事・金沢ワイズメンズクラブ会長 山内 ミハル

今年の元日夕刻、今までに経験したことのない大きな地震に見舞われました。能登地方で震度7、金沢では震度5強だということが後刻発表されました。これまでに504人(うち災害関連死276人)の死亡が確認され、住宅被害15万棟を超えていると報道されています。

去る5月、神戸ポートクラブの大野勉ワイズ(元西日本区理事)から連絡をいただき、「能登支援のため輪島でお餅つきをするので参加しないか」とのお誘いを受け、喜んで参加させていただきました。

ゴールデンウィークの5月3日朝6時半、参加したいと申し出てくれた北村まやワイズを助手席にのせ、家を出ました。行き先は輪島市中島町の東陽中学校、ナビを頼りに能登里山街道を一路輪島に向かいました。ナビは地震を知りません。発生から4ヶ月以上もたっているのに、金沢から能登への道は欠損や凸凹など、思うように走れない状態ながら開通していましたが、能登から金沢への道路は通行止めでした。輪島市内に入ると、テレビや新聞で報道されている通り、傾いたり、ペシャンコになったりしている家々の間を抜けて、やっと目的地に着きました。4時間半かかりました。

私たちが着いた時、ちょうど神戸ポートクラブ、東京武蔵クラブ、仙台石巻クラブの皆さん、西日本区担当主事の有田氏(日本YMCA同盟)、西日本区書記の清水ワイズ(とやまクラブ)の皆さんが輪になって開始前のミーティング中でした。

皆さんは前日に現地入りされ、水以外のものすべて車に積んで持ち込んでおられました。寝袋、各自の食糧はもちろん、餅つきに必要な石臼、きね、携帯用コンロ数台、鍋、蒸し器、もち米、その他食材等々。現地に一切負担をかけないという十分な配慮がなされていました。つき手は交代でしたが、手返しは難しいのでほとんど大野ワイズがしてくださいました。

つきあがったお餅を一口大にちぎって丸め、黄な粉、小豆餡、醤油たれなど付けるのは女子軍。つきあがるのを待っておられた方々が、「有難う」とうけとられ、幾人かのお年寄りはお正月に食べられなかったお

餅を、今年初めて食べた、おいしかった!!」と喜んでくれました。

山田滋己ワイズ(神戸ポート)はコーヒー担当、我々のためにおいしいコーヒーをいれてくださり、ホッとすると時を教えてくださいました。1日に4臼のお餅をつき、地区の皆さんにも食べていただくことができました。金沢の私たち二人は夕方、行きとは違う道を通って、3時間かけて帰宅。翌4日も朝6時半に家を出て輪島へ。二日目は北村ワイズご夫婦と大学生の息子さんが同乗してくださり、4名で参加できました。この日も4臼つき、夕方に跡片付けをすませ、近くに居ながら何もできなかった私たちでしたが、少しお役に立てたことに感謝し、遠くから参加くださったワイズの皆様にご挨拶をして、かつてにぎわった輪島の朝市…今は何もなくなった焼け跡を窓外に見ながら、一日も早い復興を願いつつ帰路に着きました。



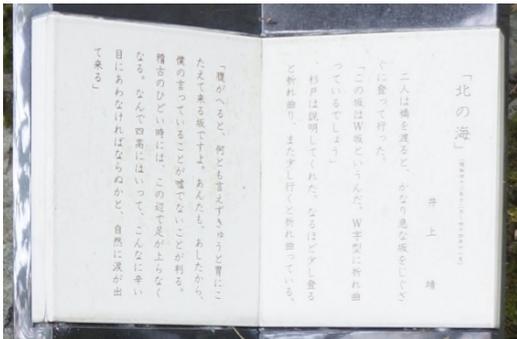
## 新桜坂緑地の展望台と通称 W 坂における 2024 年度清掃活動

金沢 YMCA 監事・金沢ワイズメンズクラブ会員 数澤 輝夫

5月18日(土)10時から、金沢YMCAと金沢ワイズメンズクラブのメンバー7名が地域奉仕として、犀川の桜橋左岸から寺町に登る「石伐坂(いしきりざか、通称W坂)」長さ65mの石段と、上り詰めたところにある展望台の清掃活動を実施しました。

当日は天候に恵まれ、清掃作業を始めるにあたり前もって駐車許可をお願いしてあった鈴木建設の駐車場に集合。世話係の数澤が作業実施前に安全の祈りと清掃作業上の諸注意事項の説明を行いました。その後、展望台までのW坂を登って、広場の隅にある用具の保管庫より各自が必要な箒や塵取りなどを受け取り、ゴミ袋や手袋を手にして思い思いの場所から清掃作業を開始。

展望台の広場は落ち葉をかき集める作業だけでそれ程大変ではありませんが、W坂は通称が示すように上から下までジグザグの階段であり、その隅々に溜まっている落ち葉を掻きだし、雑草を引き抜き、下へ下へと進むのですから、まるで果てしなく続いているような感じがします。崖側の石垣は手の届く範囲の雑草を取り、側溝の落ち葉集を集めました。メンバー7名中、4名が後期高齢者という顔ぶれでは、かなりハードな作業でした。



坂の途中に「井上靖氏『北の海』の文学碑」があります。碑文には、<二人は橋を渡ると、かなり急な坂をじぐざぐに登っていった。「この坂はW坂というんだ。W字型に折れ曲がっているでしょう」杉戸は説明してくれた。なるほど少し登ると折れ曲がり、また少し行くと折れ曲がる。「腹がへると、何とも言えずきゅうと胃にこたえて来る坂ですよ。あんたも、あしたから、僕の言っていることが嘘でないことが判る。稽古

のひどい時には、この辺で足が上がらなくなる。なんで四高にはいって、こんなに辛い目に合わなくてはならぬかと、自然に涙がでてくる」と、『北の海』からの引用文が記されています。



坂の半分を過ぎた頃には、“まだ？”“もう少しだ！”と思いがちの作業は速度が鈍りがちになりますが、“もうひと頑張り、みんなでやれば何とかなる”と励ましながら作業を続行。ふと振り返ると、五月の風に吹かれて落ち葉が坂に舞い降りていました。

ゴミ袋12袋分のゴミ、空缶1個、ペットボトル2個を回収しました。清掃作業が終わり、清掃用具を展望台の用具保管庫に片付けて、12時30分に無事終了。山内さんが感謝の祈りを捧げ、最後に全員の集合写真を撮ってから解散しました。



なお、10月19日(土)に予定されていた同地の清掃活動は、雨天のため中止となりました。

## 長土堀ユースフェスティバル 2024 に参加

金沢YMCAは、2024年10月13日(日)10:15~15:00、長土堀青少年交流センター(金沢市長町3丁目3-3)で開催された、金沢市・金沢市青团連(金沢市青少年団体連絡協議会)主催の長土堀ユースフェスティバルに展示参加した。

展示板に貼る展示の作成は、青团連関係行事の委

員長である数澤輝夫監事が担当。これまで広報委員長として金沢YMCAのニューズレターやリーフレットの展示を担当してきた平口は、2024年度のニューズレター発行が長土堀ユースフェスティバルに間に合わないで、リーフレットの2024年版を急遽作成し、当日、若草教会の聖日礼拝に出席する前に会場に届け、前

日に数澤さんご夫妻がセンター館員に手伝ってもらって展示をしたという場所の長机の上にリーフレットを20部ほど置いてきた。右掲の写真は、その際に撮影したもの。前回のユースフェスティバルと違って、2階交流ホールに面した絶好の場所に金沢 YMCA の展示場所が割り当てられていたのは幸いであった。

当日、自宅で昼食を済ませて、再び展示会場に出かけたが、朝倉秀之理事長とはすれ違いになったのは残念！ 担当の数澤監事と互いに写真撮影をしようなどしているうちに閉展の時間となり、お迎えに来られた数澤淑子さんに挨拶してから帰宅した次第。



(平口 哲夫)

## 《インフォメーション》

### 【金沢 YMCA 事務所の水漏れ】

2024年2月16日(金)、金沢 YMCA 事務所のDK兼会議室の窓際窓下の壁から水漏れがあり、床の一部が水浸しになっていることがわかった。床を乾かすための応急処置をとり、日が経つにつれ湿りが解消したが、管理組合で検討してくれるという「配水管の修理工事」については、未だに結論が出ていない。

### 【法令に基づく金沢 YMCA 事務所ガス設備調査】

2024年4月30日(火)16:30~17:00頃、株金沢エナジーの委託を受けた株大智調査員による金沢 YMCA 事務所ガス設備調査があり、事務所管理委員の平口理事が立ち会った。ガス管バルブにおける劣化したパッキングの取り換え以外、不具合はなかった。

### 【金沢市による金沢 YMCA 事務所利用状況調査】

2024年9月25日(水)10:00~11:00に金沢市による「固定資産税等の減免対象資産の利用状況」確認調査があり、宮下さんという市職員の方が金沢 YMCA 事務所に来られ、朝倉理事長が対応した。玄関の扉や各部屋が一つずつ点検され、写真撮影後、事務所の使用についての質問があった。活動の打ち合わせ、理事会・評議会などの会場になっていることを理事長が説明し、全体的には問題なく使われているとの理解が得られた。この調査の結果、後日、固定資産税がかからないことを示す書類が届く見通しだ。

### 【第46回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金】



金沢市青団連(青少年団体連絡協議会)の呼びかけに応じ、金沢 YMCA は2024年12月15日(日)14:00~14:45、大和デパート前

の歩道上で、第46回ユニセフ ハンド・イン・ハンドの募金活動を実施。同日15:10、青団連の縄寛敏会長より募金額6,595円の預かり証を受領。参加者は朝倉秀之、北村まや、北村心宙、数澤淑子、数澤輝夫の5名。添付の写真は青団連関連事業の数澤輝夫委員長が撮影。寒い中、参加して下さった皆さん、

ありがとうございます。

### 【金沢 YMCA の会員・会費・寄付】

**会員:** 本会の目的に賛同する人は誰でも入会資格があります。必要事項を記入した入会申込書(または①~⑥を記入した手紙やEメール)を金沢 YMCA 事務所または理事長宛に送付し、会費を納入していただければ、会員になることができます。①氏名、②生年月日、③住所、④電話番号(できれば携帯電話も)、⑤できればEメールアドレス、⑥職業または学校名。

**会費:** 維持会員は年会費12,000円、通常会員は年会費6,000円、学生会員は年会費2,000円、少年会員(18歳未満)は年会費1,000円です。

**会費納入方法:** 下記のいずれかの方法で。

・郵便振替 加入者名: 金沢 YMCA

口座番号: 00790-8-56852

・銀行の指定口座に振り込む

北國銀行 香林坊支店 104 普通預金

口座番号: 428491

口座名義: 一般財団法人金沢基督教青年会  
理事長 朝倉秀之

・現金で支払う

**寄付:** 会費と同様の方法でお寄せください。

★編集後記★ ウクライナ・ロシア間やイスラエル・パレスチナ間の戦争が激化・拡大しつつあり、地震・豪雨・干ばつなどの大規模な自然災害(地球温暖化ガスの排出がもたらす異常気象は人為的でもある)が頻発していることを憂いながら、2024年度最初のニューズレター発行に何とか漕ぎつけました。(平口)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



## YMCA NEWS 金沢青年 No.35

編集委員: 朝倉秀之・山内ミハル

平口哲夫(編集長) [sophiruka@yahoo.co.jp](mailto:sophiruka@yahoo.co.jp)

発行者・発行日: 金沢 YMCA・2024年12月31日

発行所: 金沢 YMCA 事務所

〒920-0998 金沢市里見町44-1-201

理事長: 朝倉秀之 [asahide0927@gmail.com](mailto:asahide0927@gmail.com)

携帯電話: 090-6539-5173

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆